

## 特別会計その他

# 国民健康保険特別会計

<p>【番号】160【施策体系】I 保険税徴収事務経費</p> <hr/> <p>事業費； 11,252 千円</p> <p>財源内訳； 一般被保険者保険税延滞金 11,252 千円</p>	<p>【事業概要】 (滞納整理の強化)</p> <p>システムを活用した分納管理業務を行うことで、履行状況等の管理が効率化され、効果的な分納管理を実現した。滞納者に対して財産調査を行い、財産状況に応じて滞納処分や滞納処分の停止を実施し、早期の滞納解消及び納税秩序の維持を行った。電話催告システムによる迅速かつ効率的な個別催告を行い、早期の納税を促した。</p> <p>【事業成果】 国保税現年分については前年度実績と同じ徴収率を達成することができ、94.1%（前年度 94.1%）となり、滞納繰越分については前年度より下がり、43.8%（同 45.6%）となった。</p>
<p>【番号】161【施策体系】I 国民健康保険税(税率改定)</p>	<p>【事業概要】 平成 28 年度に保険税率等の見直しを行い、平成 23 年度以来 5 年ぶりの税率の引上げを行った。資産割の廃止や国保制度改革のための法改正（平成 27 年 5 月）の主旨に則り、国の保険者支援策の拡充や医療費適正化等とともに、国保財政の赤字解消に努めた。</p> <p>【事業成果】 保険税率等の見直しを行うことで、一人当たりの保険税額が、平成 27 年度 75,464 円から平成 28 年度 79,559 円に 4,095 円増額したが、平成 27 年度後半から被保険者の減少が始まったため、平成 28 年度の課税額の総額は伸び悩んだ（全国的な現象）。 市広報等で見直しの必要性や時期を事前に周知した上で、平成 28 年納税通知を発送した結果、保険税額値上がりの混乱は特に見られず、また、その後の徴収率も 94.1%と前年度と変わらなかったことから、見直しの必要性は理解いただけていると判断している。 今回の見直しで一定の成果はあったが、継続的な検討は必要である。</p> <p>&lt;都内他自治体との比較（保険税率）&gt; 平成 28 年度：26 市中 19 位（49 区市中 42 位） 平成 27 年度：26 市中 21 位（49 区市中 44 位）</p> <p>&lt;全国での比較（保険税率）&gt; 平成 26 年度：1,717 自治体中 1,683 位</p>

<p>【番号】162【施策体系】Ⅲ 健康増進事業経費</p>	<p>【事業概要】 国保健康講座及び特定健診未受診者に対する受診勧奨の実施により、医療費の適正化・被保険者の健康増進を図った。</p>
<p>事業費； 2,429 千円 財源内訳； 一般財源 2,429 千円</p>	<p>【事業成果】 平成 26 年度から開始した医療費分析によると、被保険者の約 3 割に生活習慣病の治療歴があるため、若いうちからの生活習慣の改善が重要であると考えた。</p> <p>①国保健康講座の開催 約 8 割の講座参加者から「日々の生活に活かせる。」とのアンケート結果が得られた。 (イオンホールにて開催) 『ノルディックウォーキングで全身エクササイズ!』(54 名参加) 『生活習慣病予防のために今できること～食事と生活面から～』(80 名参加) (七生福祉センターにて開催) 『姿勢と健康～不調の原因は「ネコ背」だった!～』(32 名参加) 『口腔ケアと全身疾患～歯ブラシ 1 本で予防する!～』(24 名参加)</p> <p>②特定健診未受診者に対する受診勧奨の実施 特定健診未受診者の中で、年度中に受診が見込まれない 4,744 名に対し受診勧奨通知を送付し、375 名(7.9%)が通知後に特定健診を受診した。 対象者を特性ごとに 2 つのグループに分類し、対象グループごとに勧奨通知のデザインを変え、目に留まりやすい工夫をした。 過去 4 年以上連続未受診の 2,759 名(過去に一度も健診を受けていない者を含む)のグループでは、84 名が通知後に受診した。 健診への関心が低い層の行動変容につなげられたことにより、受診者の健康増進が図られた。</p>

<p>【番号】163【施策体系】Ⅲ 特定健診・特定保健指導事業経費</p>	<p>【事業概要】 日野市国民健康保険データヘルス計画に基づき、糖尿病性腎症の早期発見・早期治療を目的とした微量アルブミン尿検査を実施した。</p>
<p>事業費； 727 千円</p>	<p>【事業成果】</p>
<p>財源内訳； 都支出金 402 千円</p>	<p>平成 28 年度新規事業として、2 月から市内 40 医療機関にて微量アルブミン尿検査を実施した。 検査対象者 433 名のうち、2 月には 128 名、3 月には 148 名が検査を受診（受診率 63.7%）し、このうち 35 名が治療を開始した。</p>
<p>一般財源 325 千円</p>	<p>対象者とする条件は、前年度の特定健診結果で「HbA1c6.0%以上」かつ「尿蛋白ーまたは±」の方であり、対象者の多くは、特定健診結果からは要治療とならない被保険者である。</p>
	<p>微量アルブミン尿は糖尿病性腎症の初期に現れ、投薬治療により完治することもできることがわかっており、本検査により治療につなげることができた成果は、今後の医療費適正化に向け大きいものと言える。</p>

# 土地区画整理事業特別会計

<p>【番号】164【施策体系】Ⅶ 豊田南土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 1,234,629 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 181,210 千円</p> <p>都支出金 186,423 千円</p> <p>保留地処分金 32,036 千円</p> <p>一般会計繰入金 237,153 千円</p> <p>基金繰入金 576,447 千円</p> <p>繰越金 20,852 千円</p> <p>基金利子 508 千円</p>	<p>【事業概要】 都市計画道路 3・4・15 号線築造工事 (幅員 16m 延長 32.4m) 区画道路築造工事 3 件 (幅員 6m 延長 78.6m) 都市計画道路 3・3・2 号線仮設道路築造工事 (幅員 4.5～16m 延長 447.4m) 水路築造工事 (幅員 3m 延長 51.8m) 整地工事 1,672 m<sup>2</sup> 駅前広場暫定整備 1,027 m<sup>2</sup> 建物移転 9 棟</p> <p>【事業成果】 事業 5 か年計画に基づき、以下の整備を行った。 ①都市計画道路 3・3・2 号線の仮設道路整備及び 3・4・19 号線・都道平山通りとの交差点の改良・新設 ②都市計画道路 3・4・15 号線と都道平山通り交差点の新設 ③豊田駅南口駅前広場の暫定整備 その結果、年度末の交通開放により、幹線道路ネットワーク が構築された。</p>
<p>【番号】165【施策体系】Ⅶ 万願寺第二土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 484,351 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 34,800 千円</p> <p>都支出金 17,400 千円</p> <p>保留地処分金 158,487 千円</p> <p>一般会計繰入金 209,167 千円</p> <p>繰越金 64,493 千円</p> <p>基金利子 4 千円</p>	<p>【事業概要】 都市計画道路 7・5・3 号線築造工事 (幅員 12m 延長 94.1m) 都市計画道路 7・5・4 号線築造工事 (幅員 12m 延長 78.1m) 区画道路築造工事 2 件 (幅員 5～6m 延長 136.6m) 整地工事 5,077 m<sup>2</sup> 建物移転 3 棟</p> <p>【事業成果】 事業 5 か年計画に基づき、都市計画道路 7・5・3 号線、7・5・ 4 号線の築造を行い、幹線道路のネットワーク化と、大規模工 場跡地の土地利用の推進に寄与した。</p>

<p><b>【番号】166【施策体系】VII</b> 東町土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 548,025 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 208,900 千円</p> <p>都支出金 104,450 千円</p> <p>保留地処分金 94,040 千円</p> <p>一般会計繰入金 139,716 千円</p> <p>繰越金 919 千円</p>	<p><b>【事業概要】</b> 区画道路築造工事 2 件（幅員 5～9m 延長 319.1m） 整地工事 6,424 m<sup>2</sup> 建物移転 20 棟</p> <p><b>【事業成果】</b> 事業 5 年計画に基づき、立日橋南詰西側の木造密集地域の解消を中心に、生活道路である区画道路の整備及び周辺道路の街区整備を進めることにより、良好な宅地を供給した。</p>
<p><b>【番号】167【施策体系】VII</b> 西平山土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 1,293,712 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 744,848 千円</p> <p>都支出金 116,723 千円</p> <p>保留地処分金 101,137 千円</p> <p>一般会計繰入金 207,250 千円</p> <p>基金繰入金 38,058 千円</p> <p>繰越金 84,220 千円</p> <p>雑入 1,474 千円</p> <p>基金利子 2 千円</p>	<p><b>【事業概要】</b> 都市計画道路 7・5・1 号線築造工事（幅員 12m 延長 30m） 区画道路築造工事 4 件（幅員 4～6m 延長 338.3m） 都市計画道路 3・3・2 号線仮設道路築造工事 （幅員 10m 延長 419.4m） 都市計画道路 3・4・15 号線仮設道路築造工事 （幅員 16m 延長 105.4m） 都市計画道路 3・4・24 号線仮設道路築造工事 （幅員 6m 延長 60.4m）</p> <p>整地工事 15,607 m<sup>2</sup> 建物移転 18 棟</p> <p><b>【事業成果】</b> 事業 5 年計画に基づき、都市計画道路 3・4・24 号線の築造に向けた用地確保と、併せて都市計画道路 3・3・2 号線用地確保および仮設道路整備を進めた。 また、生活道路である区画道路の整備及び周辺の街区整備を行うことにより、良好な宅地を供給した。</p>

# 下水道事業特別会計

<p>【番号】168【施策体系】V 雨水管整備工事</p>	<p>【事業概要】 宅地化の進行やゲリラ豪雨の多発化により、旭が丘一丁目地内でしばしば生じている浸水被害を解消するため、既存の旭が丘第一幹線とは別に、新たに東平山第一幹線を整備する。 この東平山第一幹線を下流部の西平山地区につなげるため、JR中央線軌道下を推進工にて整備した。なお、鉄道軌道下という特殊事情のため、整備期間は2か年度に跨らざるを得ないことから債務負担行為を設定した。 場所：中央線 豊田・八王子間 44km441m 付近 協定期間：平成28年6月29日～平成29年12月28日 概要：内径2,000mm 管渠延長L=42.5m 委託先：東日本旅客鉄道株式会社八王子支社 委託料：全額完了後払いのため、平成29年度予算にて対応 (予算額：283,766千円)</p> <p>【事業成果】 推進工が2か年度に渡るため、平成29年度も引き続き管渠整備を実施する。 今後は、JR中央線北側は日野市公共下水道管理者、南側は西平山土地区画整理事業者が整備していくが、両者を結び付ける本工事が完了すると、北側、南側ともに整備がより一層促進されていくものと考えられる。</p>
<p>【番号】169【施策体系】V 污水管整備工事</p> <p>事業費； 193,863千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 14,490千円</p> <p>都支出金 724千円</p> <p>市債 169,055千円</p> <p>一般会計繰入金 9,594千円</p>	<p>【事業概要】 各家庭や事業所から排出される汚水について、流域下水道幹線管渠に接続するための整備を浅川処理区中心に行った。 ＜市施工分＞ 管渠埋設 内径150～200mm L=258.7m ＜東京都都市づくり公社委託分＞ 管渠埋設 内径200～250mm L=2,195.9m 整備面積：6.77ha</p> <p>【事業成果】 市施行では、都道拡幅に伴う敷設を主に行った。 また、東京都都市づくり公社に委託し、日野・豊田・東平山・西平山の一部で、区画整理事業の街路築造整備に併せた効率的な面整備を行った。 処理区域の面積は、9.29ha増加し、2,241.93ha、人口普及率は0.4%増加し、95.2%となった。</p>

<p>【番号】170【施策体系】V 下水道長寿命化対策・総合地震対策</p>	<p>【事業概要】 (管路更生) 下水道施設長寿命化事業の一環で、平成25年度から29年度の</p>
<p>事業費； 131,902千円</p>	<p>5か年で京王平山住宅地の老朽管の管路更生工事を実施することとしており、その一部を実施した。</p>
<p>財源内訳； 国庫支出金 24,325千円</p>	<p>管渠更生 内径250mm L=184.4m (市施工) マンホール蓋交換 34か所 (公社施工) 取付管布設替 37か所 (市施工) 102か所 (公社施工) (総合地震対策)</p>
<p>都支出金 1,216千円</p>	<p>日野市下水道総合地震対策緊急目標Ⅱ・Ⅲに位置付けられた「避難所等から排水される管路等の耐震化」を実施するため、液状化の可能性のある箇所について、調査・診断を行った。</p>
<p>市債 96,945千円</p>	<p>耐震診断</p>
<p>一般会計繰入金 9,416千円</p>	<p>汚水管 L=4,686m 雨水管 L=1,468m 特殊マンホール 11か所</p>
	<p>【事業成果】 (管路更生) 事業実施の結果、老朽化による施設の破損を原因とする道路陥没や下水道機能の停止を未然に防ぐことができた。 (総合地震対策) 平成29年度に予定されている実施設計に診断結果を反映させることが可能となった。</p>



# 介護保険特別会計

<p>【番号】171【施策体系】Ⅲ 介護保険事業経費(介護予 防機能強化推進業務委託)</p>	<p>【事業概要】 「介護予防・日常生活支援総合事業」における「一般介護予防事業」として、平成28年度より開始した。</p>
<p>事業費； 5,500千円</p>	<p>高齢者が自主的に介護予防へ取り組めるよう、年齢や心身の状況等に関わらず、より多くの高齢者が参加できる介護予防の企画を当該事業の受託者である日野市社会福祉協議会と検討を開始した。</p>
<p>財源内訳； 都支出金 5,500千円</p>	<p>また、高齢者が気軽に社会参加や地域づくりが行えるよう高齢者や地域包括支援センター等が、高齢者が参加できる活動を簡単に検索できるWEBサイトの構築を検討した。</p>
	<p>【事業成果】</p> <p>①高齢者や地域包括支援センターが地域の介護予防活動団体の情報を円滑に得られるよう、介護予防活動の情報発信ツールとして市内のイベント・団体活動を紹介するポータルサイト「Hi Know!」への掲載を検討し、関係機関と見やすいページの構成等の企画・調整を行った。</p> <p>②高齢者が自主的に介護予防に取り組める体操を検討するため、他市での導入事例や社会教育センター等で行われている体操を視察した。その結果、介護予防の効果が立証されている高知市の「いきいき百歳体操」を地域介護予防活動支援事業に取り入れ、名称を「ひの健幸貯筋体操」として地域懇談会等で周知を図った。</p> <p>③住民が主体的に実施できるよう介護予防活動のあり方について、地域包括支援センターと16回の検討を行った。</p> <p>④従前から実施している特別養護老人ホームなどの介護事業所でボランティア活動をしていただいた高齢者の方に対して、活動時間に応じて交付金を交付している「介護サポーター制度」に、介護予防に資する体操をより多くの高齢者に実施していただけるよう体操の支援を行う「ひの筋サポーター」を創設した。</p> <p>「ひの筋サポーター」の数及び活動の活性化を目的に、「介護サポーター制度」の対象となるよう制度構築の検討を行い、健康づくり推進員や地域サロン等で活動している方に「ひの筋サポーター」の参加を呼びかけた。</p>

<p>【番号】172【施策体系】Ⅲ 介護予防・生活支援サービス事業</p>	<p>【事業概要】 平成 28 年度より、介護保険制度の改正に伴い、「介護予防・日常生活支援総合事業」（以下「総合事業」という）を開始した。</p>
<p>事業費； 119,990 千円</p>	<p>総合事業における「介護予防・生活支援サービス事業」として、支援を要する状態にある高齢者に対して、ホームヘルパー等が自宅に訪問し日常生活の手助けを行う第 1 号訪問事業（訪問サービス）及び施設に通い運動等のサービスを受ける第 1 号通所事業（通所サービス）を提供した。</p>
<p>財源内訳； 国庫支出金 23,998 千円</p>	
<p>支払基金交付金 33,597 千円</p>	<p>【事業成果】 広く市民に周知するため市広報に事業内容を掲載するとともに、「介護予防訪問介護」及び「介護予防通所介護」を利用している利用者が、円滑に総合事業に移行ができるよう地域包括支援センターの協力により周知・説明を行い、支援を要する多くの方へサービス提供につながった。</p>
<p>都支出金 14,999 千円</p>	
<p>介護保険料 28,034 千円</p>	
<p>地域支援事業費繰入金 14,999 千円</p>	
<p>低所得者保険料軽減繰入金 219 千円</p>	<p>&lt;平成 28 年度の総合事業利用者&gt; 第 1 号訪問事業（訪問サービス）2,399 件 第 1 号通所事業（通所サービス）3,643 件</p>
<p>基金繰入金 4,144 千円</p>	

<p>【番号】173【施策体系】Ⅲ 一般介護予防事業（地域介護予防活動支援事業業務委託）</p>	<p>【事業概要】 「介護予防・日常生活支援総合事業」（以下「総合事業」という）における「一般介護予防事業」として、平成28年度より『地域介護予防活動支援事業』を開始した。</p>
<p>事業費； 8,031 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 1,606 千円 支払基金交付金 2,248 千円 都支出金 1,004 千円 介護保険料 1,877 千円 地域支援事業費繰入金 1,004 千円 低所得者保険料軽減繰入金 15 千円 基金繰入金 277 千円</p>	<p>この事業は、ヘルスケア・ウェルネス戦略にも位置付けられ、主に健康な高齢者が、身近な場所で体操等の介護予防に取り組めるよう、介護予防に取り組む地域住民や団体を支援する事業で、当面は、委託先である日野市社会福祉協議会が主催し、各地域で定期的に体操等を行う機会を高齢者に提供した。</p> <p>徐々に地域住民が主催する活動を増やし、また、場所や回数を増やせるよう関係機関との連携を図った。</p> <p>【事業成果】 地域の方々が自主的に介護予防に取り組むために、日野市社会福祉協議会が主催している「介護予防教室」については、市内全域で体操等のイベントを40箇所延べ178回実施した。</p> <p>また、介護予防に効果的な体操に取り組んでいただくために、簡易な筋力トレーニングで、覚えやすく、特殊な設備が不要である体操を導入し、「ひの健幸貯筋体操」と名づけ、市報や地域懇談会、既存の各団体の会合など、様々な機会を捉え、普及、啓発を図った。</p> <p>各団体の活動を始める前の、ちょっとした時間を利用して実践し、運動を習慣化していただくようお願いした。</p>

# 市立病院事業会計

<p>【番号】174【施策体系】Ⅲ 市立病院事業経費（新公立 病院改革プランの推進）</p> <hr/> <p>事業費； 7,776 千円</p> <p>財源内訳； 一般会計負担金・補助金 7,776 千円</p>	<p>【事業概要】 国が推進する 2025 年度に向けた医療需要と病床必要量の推計に基づき、病床の機能分化・連携を進めるための『地域医療構想』及び公立病院改革推進のための『新公立病院改革ガイドライン』に対応するため、第 2 次改革プランを活かしながら基本方針を定め、新公立病院改革プラン（平成 28 年度～平成 32 年度）を策定した。</p> <p>【事業成果】 総務省新公立病院改革ガイドラインに基づき日野市立病院第 2 次改革プランを改定し、①地域医療構想及び地域包括ケアシステムを踏まえた当院の果たすべき役割、②人材確保と職員がいきいきと働き続けられる職場環境の整備等、③経営の効率化、④地域医療構想を踏まえた再編・ネットワーク化、⑤経営形態の見直し、⑥一般会計負担の考え方、⑦住民の理解を柱とした「日野市立病院改革プラン（平成 28 年度～平成 32 年度）～急性期・中核・300 床の 2 次救急医療機関としての持続と発展～」を策定した。</p> <p>策定にあたっては、地域医療構想を踏まえた病院の役割について、市立病院と市長部局において十分な検討を行い、外部・内部環境分析を実施し、プランの基礎となる具体的な課題の抽出、課題改善策の策定など、より実効性の高いプラン策定となるよう努めた。</p>
<p>【番号】175【施策体系】Ⅲ 市立病院事業経費（第 2 次 改革プランの推進）</p> <hr/> <p>事業費； 1,124,724 千円</p> <p>財源内訳； 一般会計負担金・補助金 1,124,724 千円</p>	<p>【事業概要】 急性期・中核・300 床の 2 次救急医療機関として、市民に選ばれる持続可能な市立病院として自立していくため、第 2 次改革プラン実行計画に基づき取組を進めた。</p> <p>医療体制の強化として、救急専門常勤医師 2 人の確保、救急科の標榜、救急車の受入の増（断らない救急）、病床利用率の向上、入院・外来収益の向上、ジェネリック薬品の推進、人材の確保等により医療収益向上を図った。</p> <p>老朽化、更新時期を迎えた医療機器等の購入、施設・設備等の修繕により環境改善を図り、人間ドック・健診等の健診センター事業の充実、災害拠点病院として災害時に備えた災害拠点病院応急用資器材等の整備、災害訓練の実施、DMAT の活動など災害拠点病院としての機能向上を図った。</p> <p>また、地域医療連携の推進、患者サービス事業の推進、市民講座・講演会等による啓発活動などに取り組んだ。</p> <p style="text-align: right;">（次頁に続く）</p>

<p>【番号】 175 市立病院事業経費 (第2次改革プラン の推進)</p>	<p>【事業成果】</p> <p>&lt;平成28年度病院事業決算&gt;</p> <p>医業収益は対前年度比で約1億6千万円増加したものの、制度改正に伴う地域手当、法定福利費等の外的要因に伴う給与費の増加などにより、医業費用は約210,000千円増加し、純損失額は338,205千円(前年度226,023千円)となり、前年度より悪化する結果となった。</p> <p>現金支出を伴わない減価償却費・地方公営企業会計制度の改正・見直し経費等を除いた現金ベースによる病院事業総収支では、48,862千円の黒字となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院収益 4,455,842千円(前年度4,417,841千円) + 38,001千円</li> <li>・外来収益 2,375,712千円(前年度2,256,493千円) + 119,219千円</li> <li>・入院単価 48,820円(前年度49,014円)</li> <li>・外来単価 11,292円(前年度10,674円)</li> <li>・病床利用率 83.4%(前年度82.1%)</li> </ul> <p>&lt;診療体制の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急専門の常勤医師2人が着任し、救急受け入れ体制を整備</li> <li>・救急科の標榜に伴い16診療科から17診療科に改正</li> <li>・救急搬送患者は3,856件(前年度3,368件)+488件へ大幅増</li> <li>・医療安全部を設置し、体制を強化 (部内に医療安全管理室、感染制御室設置)</li> <li>・研修センターを設置し、研修管理の一元化に着手</li> <li>・健診センターは前年度に引き続き収益目標の1億円超を達成</li> </ul> <p>&lt;経営改善への取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レセプト等活用勉強会の発足、診療報酬単価向上事業の始動</li> </ul> <p>&lt;環境整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生体監視モニターほか老朽化に伴う医療機器等の更新 有形固定資産35件、136,031,831円</li> <li>・大規模修繕計画に基づき無停電電源設備ほか施設、設備の修繕を実施</li> <li>・医療機器等4か年整備計画策定(平成29年度～平成32年度)</li> <li>・大規模メンテナンス計画策定(平成28年度～平成32年度)</li> </ul> <p style="text-align: right;">(次頁に続く)</p>
---	---

<p>【番号】175 市立病院事業経費 (第2次改革プラン の推進)</p>	<p>【事業成果】(続き)</p> <p>&lt;地域医療連携の充実&gt;</p> <p>開業医を訪問して顔のみえる連携関係を構築できるよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介率 50.0% (前年度 45.3%) +4.7%</li> <li>・逆紹介率 31.5% (前年度 21.8%) +9.7%</li> </ul> <p>&lt;災害拠点病院&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DMA T隊の被災地派遣による熊本地震支援活動実施</li> <li>・災害医療訓練の実施(机上訓練)</li> <li>・医師会災害医療訓練への参加</li> <li>・南多摩医療圏5市通信訓練の実施</li> <li>・災害対策室の設置</li> </ul> <p>&lt;患者サービス・広報・講演会等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回 オープンホスピタル(高校生対象の体験型病院見学会) 16人参加(応募118人)</li> <li>・院内コンサート4回</li> <li>・診療科接遇診断の実施</li> <li>・病院報「ゆりの木」を年3回発行</li> <li>・市民公開講座を年2回開催 「内と外からの皮膚のトラブルから身体を守る」 42人参加 「肩関節の痛み～それって本当に五十肩？」 91人参加</li> <li>・未病の会講演会 「肝臓の病気についての最近の話題」 43人参加</li> <li>・日野市立病院を応援する市民の会講演会 「市民とともに歩む日野市立病院 ～病院のめざすもの、市民に伝えたいこと～」 約70人参加 「～みんなで話そう～安心な相談窓口活用」 約50人参加 「病院食に学ぶ健康に良い食事のコツ」 約70人参加</li> <li>・がんカフェ 全11回 357人参加</li> <li>・がん患者の会「青葉の会」2周年記念講演会 「がんと栄養」 221人参加</li> <li>・がんについての出前授業(小中学校の児童・生徒を対象) 全4回(仲田小学校、第二中学校、第七小学校、潤徳小学校)</li> </ul>
--	--